

クミアイ スピノエース™ 顆粒水和剤

Qalcova™ active

園芸用殺虫剤

天然物由来

微生物が生みだした殺虫パワー。
特別栽培(減農薬栽培)や
有機栽培にも使えます。

- 多彩な作物、多くの害虫に適用
- アザミウマ類、チョウ目害虫に優れた効果

使用できる栽培形態

※1 慣行栽培と比較して削減対象農薬の
使用回数が50%以下

	有機JAS規格別表2の農薬 マシン油剤、銅水和剤、生石灰、性フェロモン剤、天敵など生物農薬、 スピノサド水和剤、他(一部化学合成農薬を含む)
慣行栽培	<input type="radio"/> 使用可
特別栽培※1	<input type="radio"/> 成分数にカウントされない
有機栽培	<input type="radio"/> 農作物の被害が予想される場合に使用可

守ってきた「実り」がある。
つないでいく「喜び」がある。



詳しい情報は
こちらから→

■クミアイスピノエース™顆粒水和剤の適用害虫と使用方法

・使用方法:散布

・散布流量:10アールあたり100~300ℓ(いちじく、マンゴー、ラズベリー、樹木類は200~700ℓ)

*使用できる収穫前の日数と、本剤およびスピノサドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	時期*	回数*
キャベツ	タマネギウバ、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、シロイチモジヨトウ	2,500~5,000	3日	本剤 3回※1
	ハイマダラノメイガ、アザミウマ類	5,000		
はくさい	コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ウババエ類	2,500~5,000	3日	本剤 3回※1
	ヨトウムシ、カブラハバチ類	5,000		
ブロッコリー	コナガ、アオムシ	5,000	3日	3回
だいこん	コナガ、アオムシ、キスジノミハムシ	2,500~5,000	7日	3回
はつかだいこん		5,000	14日	2回
セルリー		2,500	3日	3回
にんじん	ハモグリバエ類			
にんじん(葉)	アザミウマ類		前日	3回
かぶ			前日	2回
実えんどう	ハモグリバエ類			
食用へちま		5,000	3日	3回
カリフラワー	コナガ		※2	2回
クレソン			7日	3回
みつば			3日	2回
メキャベツ	ハスモンヨトウ		3日	2回
ふだんそう		4,000	3日	2回
非結球メキャベツ	ヨトウムシ	5,000	14日	3回
	パセリ	2,500	14日	2回
みずな			3日	1回
非結球はくさい#	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ類、ハイマダラノメイガ、アザミウマ類、ハモグリバエ類	5,000	3日	2回
非結球あぶらな科葉菜類# (みずな、非結球はくさいを除く)		2,500~5,000	14日	2回
レタス	オオタバコガ		3日	本剤 3回※3
	ヨトウムシ	5,000		本剤 1回※3
非結球レタス#	ハモグリバエ類	灌注500~1,000 (使用流量:セル成型)育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約3ℓ)当り500ml	定植前まで	本剤 1回※4
	オオタバコガ	2,500~5,000	7日	本剤 2回※4
ねぎ、わけぎ、あさつき	アザミウマ類	2,500~5,000	3日	3回
	シロイチモジヨトウ			
ほうれんそう	アザミウマ類、シロオビノメイガ、アシロハモグリバエ	5,000		
トマト、ミニトマト	アザミウマ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類			
なす	アザミウマ類	2,500~5,000	前日	2回
ピーマン	オオタバコガ	5,000	前日	2回
	アザミウマ類			
すいか	アザミウマ類			
メロン	ハモグリバエ類、アザミウマ類、ウリノメイガ	5,000		
きゅうり(葉)		10,000	7日	3回
きゅうり(花)			14日	
ズッキーニ		5,000~10,000		
ズッキーニ(花)				
ししとう		20,000		
甘長とうがらし				
アスパラガス	アザミウマ類		前日	2回
いちご				
エンサイ		5,000		
すいぜんじなせり				
とうがん				
未成熟ささげ			3回	
未成熟ふじまめ				
さやえんどう	ハモグリバエ類			
さやいんげん				

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	時期*	回数*
いちじく	アザミウマ類	5,000	前日	1回
マンゴー	チャノキイロアザミウマ		3日	2回
みょうが(花穂)		5,000	前日※5 ※6	2回
みょうが(莖葉)			1回	2回
よもぎ		2,500	3日	3回
ラズベリー				
モロヘイヤ		5,000	前日	3回
つるならつきょう				
にんにく		10,000	3日	2回
にら				
にら(花莖)	アザミウマ類	5,000	前日	3回
しよくようほおずき				
食用ミニバラ		2,500~5,000	14日	3回
しそ科葉菜類#				
しそ(花穂)		5,000	3日	2回
食用花# (かんそう(花)、食用ぎく、食用ミニバラを除く)				
食用ぎく	ミカンキイロアザミウマ	5,000	発生初期	2回
ぎく(葉)	アザミウマ類			
さく	ハモグリバエ類、アザミウマ類	2,500~5,000	14日	3回
	オオタバコガ			
グアバ(葉)	バンジロウツノエグリヒメハマキ	10,000	3日	2回
さんしょう(葉)	アゲハ	5,000	発生初期	2回
花き類・観葉植物(ぎくを除く)#	アザミウマ類			
樹木類#	ケムシ類			

※1.キャベツ 本剤の使用回数:3回以内
はくさい スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圃では3回以内)
ブロッコリー

※2.みつば 収穫7日前まで、但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで

※3.レタス 本剤の使用回数:散布での使用法は3回以内、灌注での使用法は1回
スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圃では3回以内)

※4.非結球レタス 本剤の使用回数:散布での使用法は2回以内、灌注での使用法は1回
スピノサドの総使用回数:3回以内(定植前は1回以内、本圃では2回以内)

※5.みょうが(花穂) 収穫前日まで、但し花穂発生期はマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に
飛散しない状態で使用

※6.みょうが(莖葉) みょうが(花穂)の収穫前日まで、但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで

#印の登録には複数の作物名が含まれます。作物分類および作物名に含まれる別名の例等の詳細は(独)農林水産消費安全技術センターウェブサイト「農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法に係る適用農作物等の名称について」をご覧ください。

ミツバチに対する影響

ミツバチは2日後(5,000倍)から7日後(2,500倍)、マルハナバチは3日後(5,000倍)から8日後(2,500倍)に導入できます。

ローテーション防除推奨

同じ薬剤および同系統の薬剤の過剰な連続使用は避け、異なる作用機種の薬剤とローテーション(輪播)で使用することを推奨します。

■上手な使い方

薬剤を調製するときは、薬剤を投入して水となじませてから、かき混ぜてください。一度に薬剤を投入してすぐにかき混ぜると、薬剤が溶けにくくなる場合があります。

▲効果・薬害等の注意(抜粋)

●適用作物群に属する作物、またはその新品種に本剤をはじめで使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

▲安全使用上の注意(抜粋)

●蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。

●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。

- ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
- ・受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設や果樹園では、使用をさけてください。
- ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体など)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は、ほ場等に放置せず、適切に処理してください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2024年12月末日現在の知見に基づき、作成されています。

自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス https://www.kumiai-chem.co.jp